

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

企業版福島県復興創生応援事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県

3 地域再生計画の区域

福島県の全域

4 地域再生計画の目標

本県の人口は、1998年に2,136,629人となって以降、毎年約1万人の減少に転じていたなかで、2011年は東日本大震災・原子力災害の影響により、1,988,995人と約4万人減少した。出生・死亡の増減（自然動態）では、出生数は減少、死亡数は増加を続けており、2003年以降、自然減少の状況にあり2018年には12,252人となっている。社会増減においては、高度経済成長期に転出超過のピークとなり、バブル期の1993年には一時的に1,456名の転入超過となったが、90年代後半以降は再び転出超過の時代となっている。2011年には震災等の影響により、大幅な転出数の増加と転入数の減少があり、▲31,381人と大幅な社会減となった。2013年には社会動態は震災前の水準に戻ったものの、依然として進学期と就職期の若者の転出の影響が大きく、特に20～24歳の就職期に多くみられ、2018年には▲7,841人の転出超過となっている。人口減少に歯止めをかけるため、復興へ向けた取組と合わせて、構造的な人口問題を解決していかなければならない。

このまま人口減少が進むと、地域経済では、就業者や消費者の減少による各産業での人手不足、消費市場の縮小による経済活力の低下、地域社会では、地域コミュニティ・社会保障・行財政運営など地域を支える様々な分野で、これまでの水準での持続が困難になることが懸念される。人口減少を克服していくため、自然増対策とともに、即効的で実効性の高い社会増対策に取り組み、2030年には社会動態±0と2040年には県民希望出生率2.11を実現し、2040年に福島県総人口150万人程度

の確保を目指す。なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標1 一人ひとりが輝く社会をつくる（ひと）
- ・基本目標2 魅力的で安定した仕事をつくる（しごと）
- ・基本目標3 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる（暮らし）
- ・基本目標4 新たな人の流れをつくる（人の流れ）

【数値目標】

5 - 2 の①に 掲げる 事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する地方版 総合戦略の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.53	1.61	基本目標1
	健康寿命	男性 71.54 歳 女性 75.05 歳	男性 73.86 歳 女性 76.65 歳	
イ	安定的な雇用者数 (雇用保険の被保険者数)	581,271 人	581,000 人以上	基本目標2
	製造品出荷額等	51,204 億円	52,954 億円以上	
	農業産出額	2,113 億円	2,191 億円	
	林業産出額	101 億円	128 億円	
	沿岸漁業生産額	22.8 億円	40.0 億円	
ウ	「住んでいる地域が 住みやすい」と思っ ている人の割合	69.30%	75.50%	基本目標3
エ	人口の社会増減	▲7,841 人	▲4,184 人	基本目標4
	本県への移住世 帯数	390 世帯	1,014 世帯	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

企業版福島県復興創生応援事業

ア 一人ひとりが輝く社会をつくる事業（ひと）

イ 魅力的で安定した仕事をつくる事業（しごと）

ウ 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる事業（暮らし）

エ 新たな人の流れをつくる事業（人の流れ）

② 事業の内容

ア 一人ひとりが輝く社会をつくる事業（ひと）

一人一人の希望をかなえる、健やかな暮らしを支える、地域を担う創造性豊かな人を育てる事業。

【具体的な取組】

- ・ふくしま創生人財育成事業
- ・多文化共生推進事業 等

イ 魅力的で安定した仕事をつくる事業（しごと）

活力ある地域産業を支え育てる、魅力ある農林水産業を展開する、若者の定着・還流につなげる事業。

【具体的な取組】

- ・地域で稼ぐ ICT 関連産業創出事業
- ・中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト 等

ウ 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる事業（暮らし）

安全で安心な暮らしをつくる、ゆとりと潤いのある暮らしをつくる、環境に優しい暮らしをつくる事業。

【具体的な取組】

- ・スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト
- ・デジタル変革（DX）推進事業 等

エ 新たな人の流れをつくる事業（人の流れ）

地域の多様な魅力を発信する、ふくしまへ新しい人の流れをつくる事業。

【具体的な取組】

- ・新生ふくしまとつながる。人材創出。UIJ ターン促進プロジェクト
- ・ビジネスから人の流れにつなげるふくしま共創プロジェクト 等

※ なお、詳細はふくしま創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,000,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

基本目標ごとに成果を重視した数値目標を掲げるとともに、具体的な施策ごとにK P I（重要業績評価指標）を設定し、施策の効果検証・改善を行う仕組み（P D C Aサイクル）を構築し、有識者で構成される「福島県地域創生・人口減少対策有識者会議」において、戦略の達成度等を毎年9月に検証する。効果検証結果は、県ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで